

地域医療連携だより

2015年4月

■医療機器の共同利用について

本院が所有しているCTやMRI、マンモグラフィーといった医療機器は、地域医療施設の先生方もご利用いただけます。また、放射線科医師による読影も行っています。

●共同利用の流れ●

※医療機関よりご連絡ください。

- ①予約の電話をください（TEL.048-564-2537）
- ②放射線科につなぎ、予約を承ります。
- ③貴院にて「照射録」、読影希望の場合には「読影依頼書」をご記入ください。
- ④予約当日、患者さまは③の用紙を受付にご提出ください。
- ⑤ご依頼いただいた検査を行います。
- ⑥検査後、フィルムまたはCD-Rを患者さまにお渡しいたします。読影の場合には、読影レポートを後日貴院へ郵送させていただきます。
- ⑦患者さまは、本院でのお会計はありません。請求とレセプト請求は、貴院にてお願いいたします。
- ⑧月単位で利用数をまとめ、翌月にご請求させていただきます。

※『共同利用のご案内』と『照射録』等をご希望の場合には、ご連絡ください。検査は単純のみとなります。造影剤使用の場合は、本院放射線科へのご紹介となります。ご相談ください。



● 320列CT（東芝 Aquilion ONE Area Detector CT）



● MRI（東芝 EXELART Vantage/AGV 1.5T）



●マンモグラフィー（東芝 Mammorex MGV-100）

■マンモグラフィー検査について

マンモグラフィー検査も医療機器の共同利用として行っています。CT・MRIと同様に読影も可能です。検査の所要時間は、更衣から読影終了まで約15分です。乳がん早期発見の最大のメリットは「乳がんで死ななくてすむ」という確率が高いことです。▶**本院の放射線科には、女性検査技師も多数在籍しています。プライバシーも守られ、安心してマンモグラフィー検査を受けていただけます。**



行田市認知症講演会

●平成27年2月10日（火）のご報告 ～未来へ続く STORY をこの先もずっと。～

行田市医師会の協力によって、当院会議室にて開催されました。

行田市医師会 荒木医院院長・荒木先生に座長をお務めいただき、当院神内科非常勤の青山医師（帝京大学医学部薬理学講座准教授）による『アルツハイマー型認知症の薬物治療～生活習慣病との深い関わりについて～』と題した講演、理事長によるショートレクチャー『超高齢化社会を迎える行田市で認知症患者を増加させないために』が行われました。日頃医療連携を取らせていただいている医療機関の先生方を始め、院内スタッフなど約100名が参加。「有意義な講演内容であった」等、ご好評を多く賜りました。

今後も「顔の見える連携」に繋がるイベントを企画していきたいと考えております。



講演『アルツハイマー型認知症の薬物治療』
～生活習慣病との深い関わりについて～

演者：行田クリニック 神経内科 青山晃治先生
(帝京大学医学部薬理学講座准教授)

ShortLecture『超高齢化社会を迎える行田市で
認知症患者を増加させない為に』

演者：行田総合病院 理事長 川嶋賢司先生



座長：行田市医師会 荒木医院院長・荒木 宏先生



📶 地域医療連携室 VOICE

朝晩の冷え込みも緩み、春の訪れを感じられるようになりました。

今回は医療機器の共同利用についてご紹介させていただきました。開院以来、当院は地域の人々の健康と生命を守るため、より高度な医療システムの整備に力を入れ続けています。今回はご紹介できませんでしたが、骨密度測定装置もご利用いただけます。地域医療支援病院として、多くの先生方にご利用いただき、患者さまの診察のお役に立てていただきたいと思います。また、今後も講演会や勉強会等のご報告も合わせて、「地域医療連携だより」を発行してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

係長 坂本 郁

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537
直通 FAX.048-564-2538